



平成 29 年 1 月 17 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7)
問 い 合 せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

株式会社テリロジーと株式会社フィスコ、株式会社フィスコ IR との セキュリティ商材の共同マーケティングに関する業務提携のお知らせ

当社および当社の連結子会社である株式会社フィスコ IR（本社：大阪府岸和田市、代表取締役：佐藤 元紀、以下「フィスコ IR」）は、本日開催の取締役会決議において、株式会社テリロジー（JASDAQ 上場、証券コード「3356」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：津吹憲男、以下、「テリロジー」）との業務提携を決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業務提携の背景および具体的な内容

テリロジーは、国内大手企業向けにネットワークセキュリティ分野の最先端ソリューションを提供する IT 企業です。取扱商品は多岐に亘りますが、主にシリコンバレー等の海外スタートアップ企業から、既存経営陣の強固な人脈/コネクションを使いポテンシャルのある製品を探し、国内販売代理店契約を締結し、販売を開始しております。また同社は、メガバンクなどを中心とした短時間内有効なワンタイムパスワードの生成、ネットワークを流れるパケットをフルキャプチャーしてのストレージへの格納、怪しい振る舞いを検知して標的型マルウェアによるなりすまし攻撃か否かの診断など、最先端のセキュリティサービスも提供してきました。

一方、フィスコグループはフィスコおよびフィスコ IR の他、当社の連結子会社である株式会社ネクスグループ（JASDAQ 上場、証券コード「6634」、本社：岩手県花巻市、代表取締役：秋山 司、以下「ネクスグループ」）、同じく株式会社 SJI（JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社：東京都目黒区、代表取締役社長：牛 雨、以下「SJI」）などのグループ企業を擁しています。

フィスコは、金融機関、インターネット金融商品取扱業者ならびに機関投資家だけでなく、フィスコ WEB・アプリを通じた投資家とのネットワークを構築し、ヤフーをはじめとするポータルサイトへの金融情報を個人投資家にも提供しており、インターネット空間における金融情報配信業者として圧倒的な知名度を誇っています。また、フィスコ IR は、創業以来一貫して、上場企業の IR 活動を総合的に支援して参りました。これまで培ってきた確かな実績と信頼を誇る、投資家と企業 IR を齟齬無くつなぐ IR 実務支援会社です。両者は現在、約 500 社（全上場企業の 14%超）に及ぶクライアントネットワークを有しており、金融情報配信サービスや IR 支援サービス以外にも、クライアントの企業価値向上に資する協業可能性あるパートナーとの業務提携支援などを含め、多様にサポートしています。フィ

スコグループでは、投資向け AI の開発、仮想通貨取引所の運営をてがけていることに加え、ネクスグループは IoT 技術を保持しています。また、SJI はビッグデータ解析を含む AI 開発の体系的なバックアップに加え、ブロックチェーンへの豊富な知見を有しています。

なお、いま世界では、蒸気による第 1 次産業革命、電気による第 2 次産業革命、IT による第 3 次産業革命を経て、第 4 次産業革命を迎えつつあります。第 4 次産業革命では車や家電などすべてのものがインターネットに接続され、そのビッグデータの高度な解析が可能となると言われています。AI やブロックチェーンの発展により、現在よりはるかに効率化・省力化された未来が予測され、それらが半ば自律的に現実社会を動かすこととなるでしょう。現実世界（Physical Part）の制御対象のさまざまな状態を数値化し、仮想世界（Cyber Part）において定量的に分析することで新しい知見を引き出し、さらに現実世界へフィードバック及び制御する Cyber-Physical System が実現されることとなります。

そのような世界においては、現実世界のビッグデータを IoT 技術によって保持、収集する能力、それらを仮想世界（Cyber Part）において AI やブロックチェーンによって管理、分析する能力が重要になってきます。また、多くのプライベートな情報を含むビッグデータをやり取りする Cyber-Physical System においては、全体を通じてセキュリティが非常に重要な技術となってきます。

我が国では、2014 年 11 月にサイバーセキュリティ基本法が成立し、国や各機関などの責務や戦略、基本的施策が明確化されましたが、内部犯行による情報漏えいや標的型サイバー攻撃の増加など、国内の上場会社にとって、セキュリティ対策の品質向上とコスト負担の軽減は、企業価値を高める上での大きな課題となっていると言えます。

このような状況下、テリロジー、フィスコ、フィスコ IR は、セキュリティ商材の共同マーケティングについて以下のような取り組みを推進いたします。

- ① フィスコ、フィスコ IR のクライアントネットワークを活かし、テリロジーが有する高速パケット・キャプチャ、パケット保存及び復元を可能とした「Momentum」などの高度なセキュリティ商材をフィスコ IR が法人向けに幅広く提案
- ② テリロジーが立脚する国内セキュリティ市場にてクライアント基盤を有し、かつセキュリティ分野のソリューション開発に強みがあるパートナーとテリロジーの業務提携支援をフィスコ IR が提案
- ③ これまでテリロジーが培ってきた、ステルスネットワーク化の実現や企業にとって脅威となるハッカーの情報を検知・収集し、分析結果を提供するコンサルティングサービスなどの技術力や経験を活かし、フィスコ、フィスコ IR と新しいソリューション（あるいは、ビジネスモデル）の共同研究

今回の共同マーケティングでは、上記を軸に、クライアント、テリロジー、フィスコ、そしてフィスコ IR の中長期的な企業価値の向上や持続的な成長を実現する可能性を検証して参ります。

なお、今回の業務提携にあたりましては、ネクスグループがテリロジーへ資本提携および取締役 2 名の派遣を決議しております。詳細につきましては平成 29 年 1 月 17 日リリースの「株式会社テリロジーとの資本業務提携に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社テリロジー
(2) 所在地	東京都千代田区九段北一丁目 13 番 5 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 津吹 憲男
(4) 事業の内容	①海外ハードウェア、ソフトウェア製品の輸入販売 ②ネットワーク関連製品の販売

	③エンドユーザへのシステムコンサルティングと構築・教育 ④ネットワーク構築・工事（建設業許可書取得） ⑤ネットワーク関連製品の保守サービス ⑥アプリケーションソフトウェアの開発			
(5) 資本金	1,182百万円（平成28年9月30日現在）			
(6) 設立年月日	平成元年7月14日			
(7) 大株主および持株比率	津吹 憲男 30.24%、阿部 昭彦 9.76%（平成28年9月30日現在）			
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近3年間の経営成績および財政状態	（単位：百万円）			
	決算期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
純資産		933	723	699
総資産		2,656	3,052	2,455
1株当たり純資産（円）		60.71	47.03	45.47
売上高		2,560	2,804	2,639
営業利益		△121	△212	26
経常利益		△153	△207	0
当期純利益		△147	△211	△19
1株当たり当期純利益（円）		△9.58	△13.76	△1.25
1株当たり配当金		—	—	—

注：唯一の連結子会社を平成26年10月に清算終了したことに伴い、平成27年3月期以降は単体の記載となります。

3. 日程

(1) 決定日	平成29年1月17日
(2) 契約締結日	平成29年1月17日
(3) 開始日	平成29年1月17日

4. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響は、現段階においては軽微であると考えておりますが、今後、開示の必要性が生じた際には、その内容を速やかに開示いたします。

（参考）

○テリロジーとフィスコグループの協業について

テリロジーとネクスグループとの資本業務提携を契機に、当社、フィスコ IR、フィスコ仮想通貨取引所、S J I と各業務提携と協業を推進いたします。詳細は別紙「テリロジーとフィスコグループの協業」をご参照ください。

以上

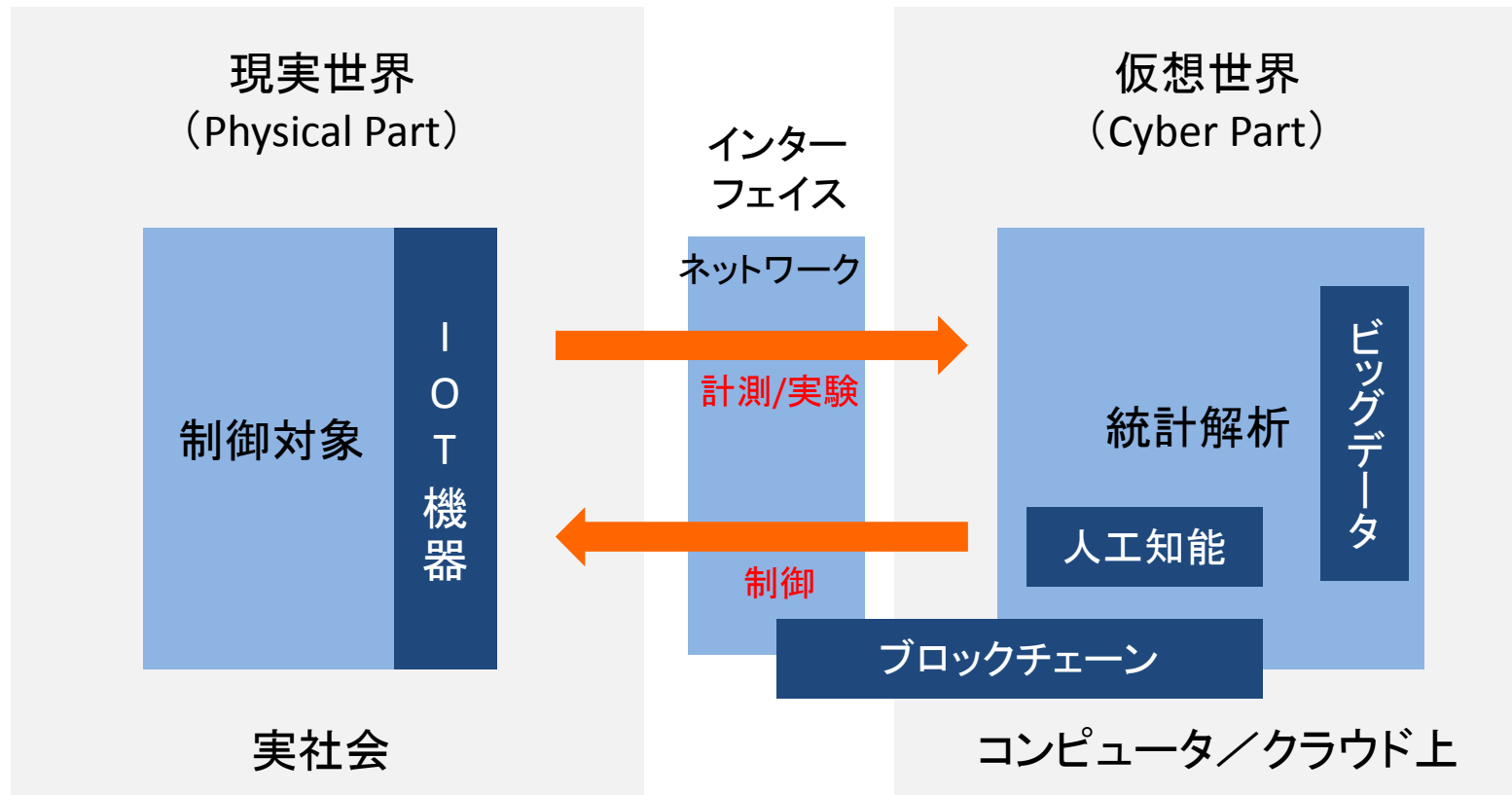
<別紙>

テロロジーとフィスコグループの協業

第4次産業革命の到来に向けて Cyber-Physical Systemの実現

現実世界の制御対象のさまざまな状態を数値化し、仮想世界において定量的に分析することで新しい知見を引き出し、さらに現実世界へフィードバック及び制御する

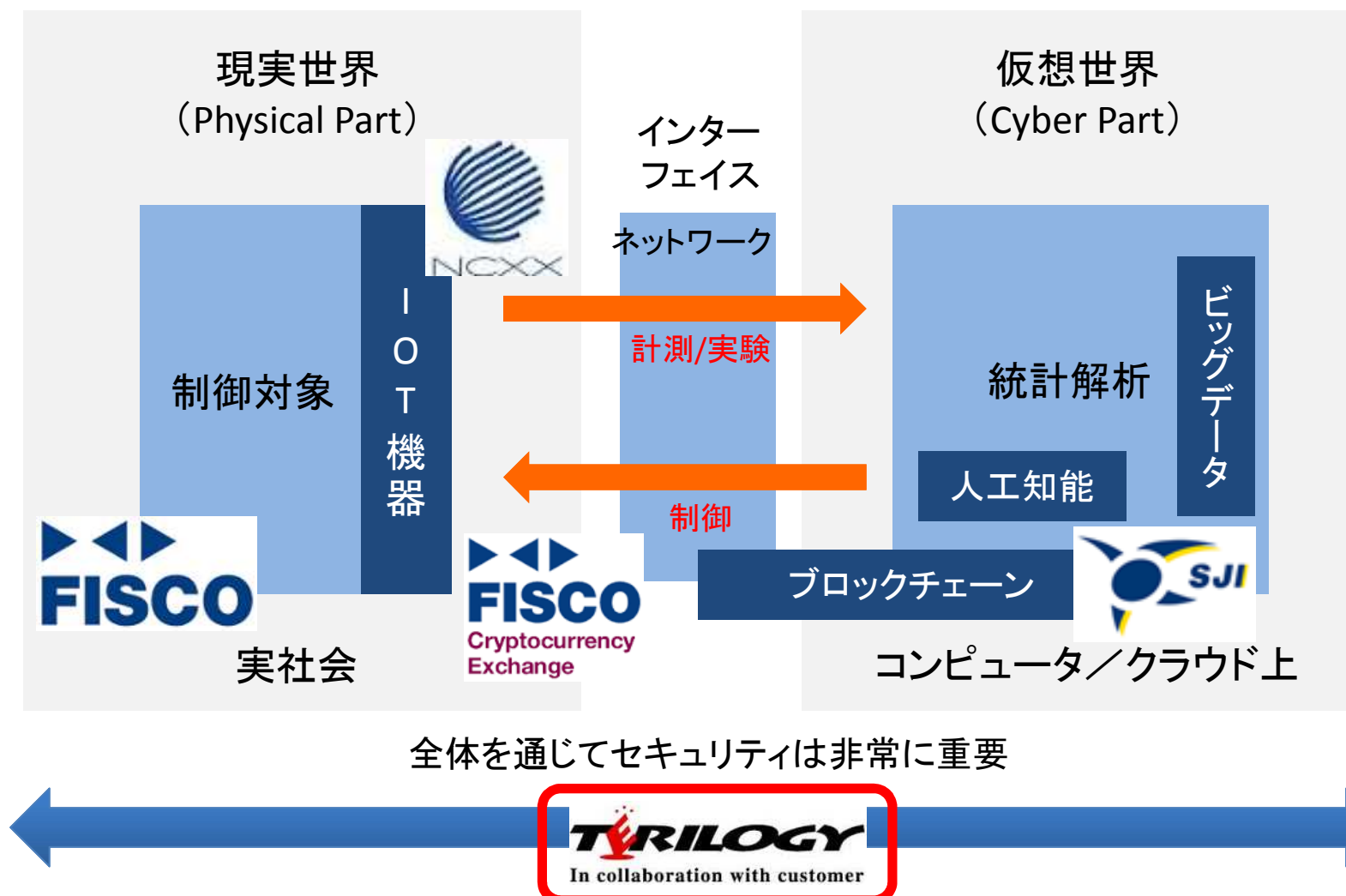
Cyber-Physical System (CPS概念図)



Cyber-Physical Systemにおけるグループ各社のポジション

フィスコグループ全体でCyber-Physical Systemを実現するにあたり、テリロジー社は全域にわたってセキュリティを強固なものとする

Cyber-Physical System (CPS概念図)

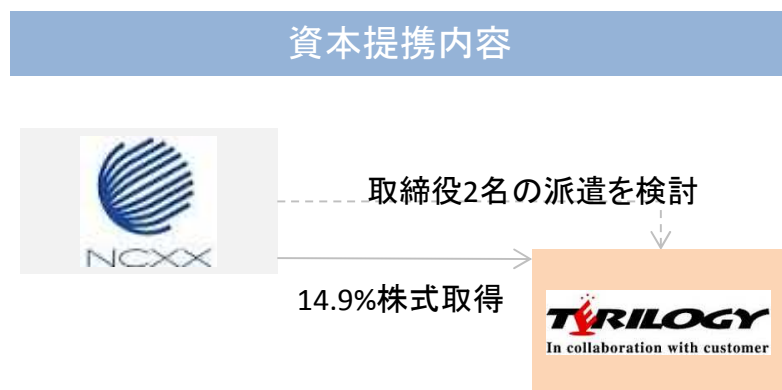


フィスコグループとテリロジーの協業

ネクスグループによるテリロジー資本参加を契機に、フィスコグループ4社と業務提携と協業を推進

資本提携内容

- ネクスグループによるテリロジー株式
14.9%取得
- 加えて、マネジメント層の派遣を検討
 - ネクスグループからテリロジー社への取締役2名の派遣の検討



グループ各社との業務提携内容



フィスコ × テリロジー:

フィスコ及びフィスコIRの企業ネットワークを活かしてセキュリティ製品の共同マーケティングやクロスセルを実行します



フィスコ仮想通貨取引所 × テリロジー:

他社取引所にはない強固なセキュリティを実現するとともに当該システムの外販を行います



ネクスグループ × テリロジー:

ネクスIoT機器に高度なセキュリティを実装するとともに、IoT機器間および機器とクラウド間での通信セキュリティを高める戦略商品の開発を行います



SJI × テリロジー:

テリロジーのセキュリティ製品にSJIの持つブロックチェーン技術を適用した高付加価値製品を共同開発をします。また、Momentum(テリロジー製品)のソフトウェア開発の共同事業化を推進し、効率化とシナジーを追求します

注) CAICA

株式会社SJIは、平成29年1月開催予定の第28期定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認されることを条件として、「株式会社カイカ」に商号変更される予定です